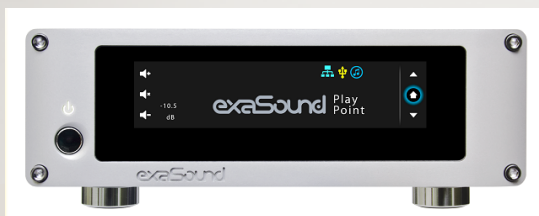


EXASOUND PLAYPOINT & ROON ミニ試聴会

@ダイナミックオーディオ5555 2016.07.31



PLAYPOINT とは？

<http://www.exasound.jp/product/playpoint/>

PLAYPOINTはどういうハード？

- **exaSound製USB DACをネットワークオーディオシステムに変える存在**
 - 本製品のジャンルを「ネットワーク・ブリッジ (Bridge)」と呼ぶ
- **あらゆるハイレゾデータをUSB DACに忠実伝送**
 - ステレオから最大8chまでの、～32bit/384kHz PCMおよび～12.288MHz DSD(DSD256)
- **マルチ・プロトコル対応**
 - Roon、UPnP/OpenHome Renderer、Apple Airplay、MPD、JRiver、HQPlayer NAA

PLAYPOINTの3つの特長

- **優れた音質**
 - お客様による設定不要・細かいケア不要でオーディオ専用PCのクオリティを実現
- **高い安定性**
 - 不具合が少ない、相性問題が出にくい、設置に時間がかからない
- **高い利便性**
 - 既存ネットワークオーディオシステムからの入れ替えが極めてスムーズ&好きなコントローラーアプリが使える
 - OpenHome(UPnP)方式のメディアサーバー (DMS+DMR) としても使える
 - Roon Ready (Roon Server搭載)

導入例 1



DMS



DMC



DMR



既存のネットワークオーディオからの移行プラン

- NAS(DMS)はそのまま利用継続
- ネットワークプレーヤー (DMR) を PlayPoint と e22mk2 の組み合わせに入れ替える
- コントローラーアプリ (DMC)は従来通りでも、新しいものでもOK

導入例 2



USBポータブルHDD/USBメモリ



DMC



DMS+DMR



ネットワークオーディオ初体験プラン

- NASは不要（あとから加えてもOK）
- NAS(DMS) 兼 ネットワークプレーヤー (DMR) として PlayPoint と e22mk2 の組み合わせを使う
- コントローラーアプリ (DMC)はお好きなものを

PLAYPOINTをお薦めしたいお客様とは？

- PCM・DSDを問わずあらゆる音源をネットワークオーディオで楽しみたい方
- USB DACをPCで操作することがそろそろ煩わしくなってきた方
- exaSound製のUSB DACをとにかくいい音で聴きたい方
- ネットワークオーディオの各種プロトコルでの音の違いを楽しみたいマニアックな方
- Roonにいち早く触れたいマニアックな方
 - 「Roon」とは？→続く.....

ROONとは？

<https://roonlabs.com/>



ROONとはどういうソフトウェア？

- 一時期英Meridianの傘下だったSooloosのメンバーが新たに作り出した、新しい概念の再生ソフトウェア
 - USB DAC用再生ソフトとしても、ネットワークオーディオ用再生ソフトとしても使える = 「PC用再生ソフト」あるいは「ネットワークオーディオ用コントローラーアプリ」といった既存の分類にとらわれない。なので、ちょっと理解が難しい。
- DLNAに似ているがちょっと違う、新しいコントロール方法・ファイル管理・信号出力の概念を採用
- 1年間のサブスクリプションライセンスで119ドル、永年ライセンスで499ドル

ROONの3つの特長

- 超・柔軟なファイル再生環境を構築することができる
 - PCから、スマホから、タブレットからリモートコントロール
 - マルチルーム、マルチデバイス、グルーピング
- ライブラリの管理・表示に優れる
 - ローカルのファイルを独自の音声解析により分類・表示
 - アーティスト情報などを横断的に表示・検索
 - ローカルのファイルとストリーミングサービス（TIDALなど）のライブラリを統合管理
- 独自の伝送プロトコルRAAT(Roon Advanced Audio protocol)で高音質化
 - 2chの～24bit/384kHz PCM、～DSD256に対応

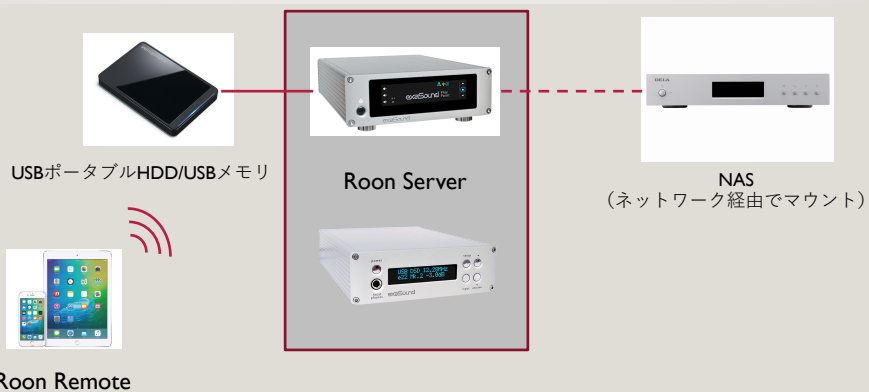
ROONの3つの要素、CONTROL・CORE・OUTPUT

- RoonはControl・Core・Outputの**3つの要素の組み合わせ**でできている
- DLNAでいうところの、DMCがControl、DMSがCore、DMRがOutputという理解を出発点とすると以下のような違いがある
 - DLNAはDMRが文字通りレンダリング（ファイルの処理）をするが、RoonはCoreがレンダリングをする
 - DLNAは同一のネットワーク上にDMSがいくつあっても良かったが、RoonのCoreはひとつだけしか存在できない
 - DLNAは単一のDMCから単一のDMSと単一のDMRを指定する必要があるが、Roonは単一のControlから複数のOutputを指定することができる
 - DLNAは対応する様々なDMC・DMSがあるが、Roonは純正のソフトウェアで全て操作する

ROONの3つの要素の組み合わせで、呼び名が変わる

- Roon = 【Control】 + 【Core】 + 【Output】（例：PC/MacとUSB DACを直結）
- RoonRemote = 【Control】（+ 【Output】）（例：スマホ・タブレットで操作）
- RoonBridge = 【Output】（例：ネットワーク越しに操作するPC/Mac）
- RoonReady = 【Output】（例：Roon対応のネットワークプレーヤー）
- RoonServer = 【Core】 + 【Output】（例：PlayPoint）

ROONの使い方の例（今日の接続例）



ありがとうございました！